**2025年度後期****大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金**

**海外渡航計画書 （中・長期用）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 入学年度 | 所属研究科・専攻 | 課程・所属年次 |
|  |  |  |
| 学生番号（10 桁） |  |
| 学生氏名（ふりがな） | （ ） |
| 指導教員氏名 |  |
| 申請金額 | 　　　　円 |

|  |
| --- |
| 【計画名（30 字以内）】 |
| 【渡航予定国・地域】 | 【渡航予定期間】月 ～ 月 （約 日間） |
| 【計画内容】 ※海外渡航計画書全体で2 ページを上限として記入のこと。なお、これらの注意書き及び審査基準は削除することが可能。審査基準：・自ら計画した渡航の目的、到達目標、得られる成果が明確に記載されているか。・計画した渡航が、自身の今後の研究活動やキャリア形成においてどのように活かされるかが記載されているか。・計画が具体的であり実現が十分に見込まれるか。（海外の大学等研究機関で研究を行う計画の場合は、申請者と海外における受入研究者との事前交渉等が十分になされているか。）・渡航に対するリスクの可能性を認識し、予防策・対応策などを考えた計画であるか。・奨学金の使用用途について、計画を持っているか。 ※大学院教育支援機構プログラムやフェローシップ事業の研究費で渡航費・滞在費の一部を負担する場合や、研究室や財団等からの資金援助を受ける（予定含む）場合は、その内容を具体的に記載すること。※重複支援にあたる場合は、本助成金による支援はできません。 |
|  |
| 【申請金額の内訳】※記載例（申請時にはこの記載例を削除すること）《渡航費》関西空港－XX空港　往復フライト代金　　　 　・・・000000 円 《滞在費》宿泊代金（000000円/泊　×00泊）　　　　　　 ・・・000000 円 《その他》プログラム参加費、授業料、旅行保険代金など　・・・000000 円 ※（該当がある場合のみ）他の資金援助の内容：●●財団から奨学金として　000　円　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 大学院教育支援機構プログラム研究費でフライト代負担申請金額：　　　　　　　　円※かならず本様式上部の申請金額欄と一致していること |

※手書き不可。

※日本語または英語で作成すること。

※ワードファイルを提出すること。ファイル名は「海外渡航計画書\_氏名」とすること。